

学校の概要、目標及び計画

本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、最高の技術と高度な知識、人格を国際レベルで習得し、日本の福祉・医療・保健の分野で有為の人材を育成することを目的とする。

●沿革

社会福祉法人 新生会のはじまり

初代理事長 今村 勲は、1909年愛媛県今治市生まれ、現名古屋大学医学部卒業後、病院に勤務する。1944年空襲を避けるため、患者とともに現池田町に疎開し、そこで終戦を迎えた。終戦後も名古屋には戻らず1946年この地に「新生病院」を開設し、地域医療に一生を捧げる決意をした。しかし、医療だけでは老人を支えられない現実に直面、私財を投入し、理想的な老人ホーム創りに奔走した。ばしょとしても、当時としては画期的な場所であった町の中心に特別養護老人ホーム「サンビレッジ新生苑」を開設。地域の中であって、家族がいつでも立ち寄れる温かなホームをめざした。

学校設立の経緯

2代目理事長 石原 美智子はオーストラリアの先進的な介護を学び、その質の高いサービスを取り入れるとともに、1980年前後には地域の在宅老人のための入浴サービスやデイサービスなどを提供した。池田町は全国から注目を集める老人福祉先進地となった。さらに、在宅を担う「(株)新生メディカル」を発展させ、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていくためのネットワークを創り出した。そこに、1996年に在宅支援を担う力を持った専門職の育成を目指すサンビレッジ福祉専門学校を設立した。現在も、社会福祉法人立を維持し、現場と連携した教育の推進を目指している。

1996年 サンビレッジ福祉専門学校 介護福祉学科（2年制）開校

1997年 学生のオーストラリア研修開始

1998年 サンビレッジ国際医療福祉専門学校に校名変更

作業療法学科（4年制）開設

2001年 坂内村での山村生活体験実習開始

2002年 言語聴覚学科(3年制)開設

2010年 作業療法学科を3年制に改編

2014年 付帯事業として通信課程 介護福祉士 実務者研修開始

●目標

設立者である社会福祉法人新生会の「他人のいたみを自分のこととして感ずる感性と人が等しく生きてゆくことの福祉観を基本として」を理念とし、地域医療・地域福祉の最前線を担う即戦力となる介護福祉士・作業療法士・言語聴覚士を育てる。

- ① 現場との連携、現場を十分活用した教育
- ② 一人一人の特性に応じたオーダーメイド教育
- ③ 地域との連携、地域への発信、地域のなかでの教育
- ④ 教職員全員の情報共有にもとづく部署間の連携と業務の「見える化」
- ⑤ 国際社会を視野に入れた介護・リハビリ教育

2019 年度目標及び計画

学生の学修を、学科を超えて支える

～教職員一人ひとりが、自分と相手の特性を理解し、学生の成長のために協力し合う～

学生も教職員も一人ひとり異なった特性・個性を有している。それぞれが得手・不得手を持っている。これを強みととらえたい。年間を通して、教職員一人ひとりが、学生の成長のためにふさわしいと思う様々な機会・計画を提案し、皆で考え・実行し、学科を超えて協力していく。

- ① 学生の国語力アップに関して、全学体制で臨む。
- ② リハビリセンター白鳥をはじめとする新生グループの諸事業所と協力して、体験を通して多職種連携を学ぶ機会を数多くつくる。
- ③ 学生の特性に応じた授業実現のため、教職員による研究会・勉強会を定期的を開催する。(1回/月)

●年間スケジュール

<http://sunvi-college.jp/schedule/>

